

取組の名称		安らぎとうるおいあふれる港区運河を目指して	
活動主体（団体名）		国立大学法人東京海洋大学 水圏環境教育学研究室	
活動主体（団体名）（フリガナ）		コクリツダイガクホウジン トウキョウカイヨウダイガク スイケンカンキョウキョウイクガクケンキュウシツ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	2010年から、東京海洋大学周辺を囲む運河を活動の場所として、海洋大生と地元の小中高生が、水質調査・水質改善実験を通して、人々に訪れたいと思っていただける安らぎとうるおいあふれる運河を目指しています。2016年から芝浦アイランド「カニ護岸」を実験区域として、カイロ団子（使用済み使い捨てカイロを原料として固形化したもの）を設置し、水質や生き物に与える鉄イオンの効果を検証しています。2018年からみたとエネコ協会と連携し、クルーズ船による「東京の森川海を知る」イベントを開催し、「水都東京」への理解を促進しています。2021年から地元高校生と大学生が連携してウォータースタディ調査を行っています。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://www2.kaiyodai.ac.jp/~t-sasaki/	
	③実施時期、頻度	2010年から16年以上、定期的実施	
	④活動場所（所在地）	東京都港区	
	⑤活動の規模（参加者数）	毎年600名（小学生200名、中学生200名、高校生100名、一般市民100名）	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2025年10月18日	2025年10月22日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input checked="" type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）		<p>①人間の幸福に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港区の運河での活動を通して、子どもたちの、自ら進んで課題を解決できる力【科学的探究力】、地域に対する愛着【関係価値】を育みます。 ・子どもたちの運河学習の推進のために、民間企業、地域住民の方々が積極的に協力することで地域全体で運河を大切に思う意識が高まっています。 ・メンター役を果たす大学生も、探究活動を推進するファシリテーターとしての資質・能力を身に付けていきます。 <p>②生物多様性に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カイロ団子を活用した水質浄化実験では、カイロ団子の設置によって、鉄イオンが硫化水素を吸着し、溶存酸素が高まりウナギなどの生物が観察できるようになりました。 ・また、鉄イオンの効果によって、藻類がおよそ1.4倍繁殖することが明らかとなりました。 ・カニ護岸に生息しているクロベンケイガニが珪藻を捕食していることも確認され、鉄イオンは、運河のエコシステムの維持にとってプラスの効果がある可能性があります。 	